

令和 5 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業報告書

自 令和 5年 4 月 1 日

至 令和 6年 3 月 31 日

令和5年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和5年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第4条(1)関係）	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業（定款第4条(2)関係）	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第4条(3)関係）	11
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第4条(4)関係）	22
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第4条(5)関係）	25
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第4条(6)関係）	30
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業（定款第4条(7)関係）	33
令和5年度 産業プラザ施設利用状況<別表A>	33
施設利用収入状況<別表B>	34
理事会・評議員会	36
協会組織強化	37

令和5年度総括

令和5年度は、コロナ禍の収束後もなお、欧州・中東情勢に加え、長引く円安、高止まりを続ける原材料価格など不安要素が下振れ圧力となり、本格的な経済復興には途半ばの様相を呈しました。

こうした状況下、公益財団法人大田区産業振興協会は蒲田 Pi0、羽田 Pi0 そしてデジタル Pi0 の3本柱の基に産業者へのさまざまな支援を行ってきたところです。

蒲田 Pi0 は、大田区産業プラザ1階の Pi0 フロントにおいて各種ビジネスに関する相談に応じ、特に創業に関するものは800件を超える数に上っています。また、4月から利用を再開した大展示ホールでは、社会課題の解決を目指す「Meet New Solution in OTA」が大盛況となり、「フード展示商談会」は、バイヤーに加えコンシューマーにも門戸を広げるなど新たな取組も行いました。

羽田 Pi0 では、好評の「超専門技術ミニ展示会」を3回開催し、毎回多くの来場者を得るとともに、板橋区との共同開催など自治体の垣根を越えて参加企業のビジネスチャンス拡大に寄与しました。

そして、デジタル Pi0 は、時と場所を選ばず、出会い・つながり・交流する第三の Pi0 として運用し、メンバー登録も目標の1,500件を超えました。

このほか、産業者支援人材を確保するため、新たに6名の職員を採用し、さらに安全高利回りの金融商品運用に道を拓くことにより財務基盤の強化を図りました。

そして、令和6年度は、コロナ禍からの繰越需要による緩やかな回復見込の一方、能登半島地震による影響や物流・建設業界における2024年問題などの不確実性が加わる中で、経済活動の拡大と着実な成長を目指す年となります。

公益財団法人大田区産業振興協会は、世界情勢や社会状況の変化を的確に捉え、切れ目のない支援を続けていくとともに、これらを実行する職員一人ひとりの能力・資質を高めることで、大田区のすべての「産業者の応援団」として、皆様の期待に応じてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

【重点取組事項】

- ・産業情報誌「テクノプラザ」は協会ホームページ上で特設ページを設置し、大田区企業の活性化を目指し、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産 100 選」表彰商品・製品を、パンフレット・ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【当初予算額 529,000 円（うち区補助）529,000 円】

【決算額 498,589 円（うち区補助）498,589 円】

(ア) 総合事業案内冊子の配布

1,500 部増刷実施

(イ) 大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

(ウ) 視察対応

国内	105 団体	1,208 人
海外	23 団体	293 人



【総合事業案内】

② 大田ブランド発信事業

【当初予算額 0 円】

【決算額 0 円】

区内中小企業等のブランド力の維持向上に繋がる取組を発信した。



③ 産業情報誌の発行

【当初予算額 2,389,000 円（うち区補助）2,389,000 円】

【決算額 2,191,128 円（うち区補助）2,191,128 円】

協会ホームページ内の「テクノプラザ Web 版」において、年間を通して先進的な取組を行う企業・経営者の取材記事を掲載した。Web 上の記事の要約版（9月）及び優工場等の表彰企業の情報（3月）を紙媒体で発行・配布した。



【テクノプラザ ホームページ】

「テクノプラザ」	協会ホームページの更新	10 回
	紙媒体 2 回（9・3月号）	A4 判 各号 4,000 部



【テクノプラザ】

④ 産業情報受発信事業

【当初予算額 4,447,000 円（うち区補助）4,147,000 円】

【決算額 4,379,320 円（うち区補助）3,739,320 円】

（ア） 産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入：116 冊 ・提供：206 冊 ・新聞購入：2 紙

（イ） 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産 100 選」表彰製品・商品等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

（ウ） 協会ホームページによる情報発信

・随時発信 (<https://www.pio-ota.jp/>)

・年間アクセス件数：97,628 件

・年間閲覧ページ数 (PV)：261,769 件

※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は

サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」

「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム（mirai）」

「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。



【協会ホームページ】

（エ） プレスリリース配信サービスの活用

・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、12 回の発信を行った。

⑤ 調査・研究事業

【当初予算額 0 円】

【決算額 0 円】

産業関連情報誌及び区内中小企業から得た情報を調査・研究し、令和 6 年度の新規事業等に活用した。

〔重点取組事項〕

- ・大田区産業プラザ1階「Pi0 フロント」では、区内中小企業の経営基盤の強化や創業促進などのため、ビジネス相談（専門家派遣）、創業相談（創業相談窓口）及びデザイン相談（Pi0 デザイン工房）を実施。さらに、大田区産業の総合相談窓口として、館内の支援機関・団体をはじめ、各支援機関等との連携強化を図りつつ、専門的な相談窓口への橋渡しなど、相談者が必要な支援を受けるためのコーディネートを行った。
- ・創業者支援事業では、創業期における様々な課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組を行った。令和2年度から始まったベンチャーピッチ in 羽田は、パートナー企業数を9社から17社へと増やし、創業者の事業展開をこれまで以上に支援した。
- ・「創業相談窓口」
専門員による窓口での相談件数は延べ884回と、令和4年度（延べ805回）から増加し、継続的な相談や国の特定支援事業を案内するなど、区内創業を促進した。
- ・「スタートアップ試作支援」（経営サポートセミナー及びベンチャーピッチ in 羽田）
創業に必要な知識である、経営や財務に関するビジネス開発プログラムを7回にわたり開催し（延べ60人が参加）、区内創業の促進に努めた。コーチングを経た成果発表の場となる「ベンチャーピッチ in 羽田」では、創業希望や創業間もない企業・団体から20件の応募があり、うち10件のビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップし、パートナー企業17社に対してピッチを行った。会場では、質疑応答やパートナー企業からのアドバイスが活発に行われ、創業者の成長につながる機会を創出した。
- ・「工場表彰制度」事業は、9社を優工場に認定した。従来の認定特典（PR動画、パンフレット作成）に加え、大田区中小企業融資あっせん制度「チャレンジ企業応援資金」における経営診断の免除と新たな認定特典として加えた。

① 中小企業情報化支援

【当初予算額 5,791,000円（うち区補助）3,112,000円】

【決算額 5,135,009円（うち区補助）2,809,609円】

(ア) ホームページPRツール作成支援サービス（Pi0 デザイン工房）

区内中小企業のホームページをはじめ、ポスターやチラシなどの各種PRツールの作成を、デザインを専門とする専門員が支援することで自社製品やサービスのPRを促進した。

利用回数	延べ270回	新規利用者数	23社
------	--------	--------	-----

(イ) 東京工科大学とのホームページ作成支援

区内中小企業と東京工科大学の学生・教員が連携して区内中小企業のホームページを作成する事業を実施した。区内中小企業の情報発信力向上や販路拡大に学生が関わることで企業にとって若いユーザーへの訴求力が高まるなどのメリットがあるのみならず、学生の社会経験や知見の向上につながった。

利用者数	8社
------	----

② ビジネスサポートサービス

【当初予算額 11,980,000 円（うち区補助）11,980,000 円】

【決算額 9,202,986 円（うち区補助）9,202,986 円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術力や生産性の向上、事業継承などの様ざまな課題に対し、解決を図るため、専門家（支援協力者）等を派遣する相談事業を実施した。

専門家派遣回数	延べ702回	支援協力者登録数	104人
---------	--------	----------	------

経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数
令和5年11月1日	第1回人材確保・定着セミナー 「人材の定着に向けた企業に必要な対策」 実施方法：ハイブリッド開催 ・会場（大田区産業プラザ6階C会議室） ・オンライン（Zoom） 講師：周藤 智氏（STO 法律事務所 弁護士） 協力：東京圏雇用労働相談センター	32人
令和5年11月9日	第2回人材確保・定着セミナー 「知っておきたい労務管理のポイント」 会場：ハイブリッド開催 ・会場（大田区産業プラザ6階C会議室） ・オンライン（Zoom） 講師：稲生 滋氏（特定社会労務士） 協力：東京圏雇用労働相談センター	31人
令和6年3月14日	カーボンニュートラルセミナー 「CO2排出量の見える化から始まる脱炭素」 実施方法：オンライン（Zoom） 講師：e-dash 株式会社 清野 隆氏、篠崎 翔太郎氏	37人

(イ) Pi0 フロント

(a) Pi0 フロントにおける相談等利用実績

内容	利用者数（延べ）
創業相談（創業相談窓口）	696人
ビジネス相談（専門家派遣）	262人
デザイン相談（Pi0 デザイン工房）	176人
ビジネスアイデア相談	2人
窓口相談	184人
電話相談	350人
館内案内	1,255人
その他利用（他事業打合せ、見学等）	246人
合計	3,171人



【Pi0 フロント】

(b) Pi0 フロントショーケーシング

創業相談やビジネスサポートサービス等を利用している方が、自身の事業の魅力やPR できる場とすることを目的に、Pi0 フロントショーケーシングを設置し展示を行った。

展示点数	延べ 72 点
------	---------



【Pi0 フロント ショーケーシング】

(ウ) 大田区デジタルプラットフォーム (OTA デジタル×Pi0)

内容	利用者数
メンバー登録者数	1,395 人 (令和 6 年 3 月末日時点)
コンテンツ発信件数 (イベント、マガジンページ)	34 件



【OTA デジタル×Pi0】

③ 繁盛店創出事業

【当初予算額 23,717,000 円 (うち区補助) 23,717,000 円】

【決算額 6,704,436 円 (うち区補助) 6,704,436 円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、専門員による経営相談及び改善提案を行ったほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

専門員派遣件数	うち店舗改善費用助成件数
35 件	10 件



【繁盛店創出事業案内】

(イ) デジタルを活用した情報発信

LINE 公式アカウント「商い Pi0」による情報発信・案内を実施した。

配信回数	登録者数 (令和 6 年 3 月時点)
28 回	248 アカウント



【LINE 公式アカウント商い Pi0】

④ 創業者支援事業

【当初予算額 20,726,000 円 (うち区補助) 20,566,000 円】

【決算額 15,897,367 円 (うち区補助) 15,815,367 円】

・ **創業相談窓口の設置**

(a) 創業相談窓口

区内での創業希望者または創業して間もない方を対象に、事業計画作成、資金調達及び販路拡大の方法など、専門相談員による創業時の様ざまな課題への助言等を行う相談業務を実施した。

相談件数	延べ 884 回
------	----------

(b) 創業者交流会

実施日	テーマ等	参加者数
令和6年3月25日	「創業者交流会」 会場・協力：六郷 BASE 内容：①創業者ピッチ ②大田区産業振興協会・六郷 BASE 紹介 ③交流会（名刺交換等）	13 人

・ **ユナイト助成**

助成件数 5 社（申込件数 5 社）	
企業名	事業テーマ
MK planning 合同会社	未利用の自然材を内装材へアップサイクル化
avatarin 株式会社	アバターロボット newme 用マルチスピーカーホルダ開発事業
合同会社 BirthT	ベルトコンベア型 3D プリンタ「LeeePRO」の改良版開発
株式会社 Vanwaves	国産のサウナ用電気ストーブの開発
株式会社水龍堂	新型 ROV（水中ドローン）フレーム試作



【事業案内チラシ】

【助成事業テーマ事例】

・ **創業ワークショップ（ビジネス開発プログラム）**

	実施日 場所：羽田会場 (PiO PARK)	実施日 場所：蒲田会場 (産業プラザ PiO)	タイトル
第1回	令和5年 10月16日	令和6年 1月23日	「創業期におけるビジネスアイデアの磨き方」 スタートアップの成長モデルについて理解を 深め、事業として目指すべき成長について考え るとともに、初期に描くべき仮説と検証方法に ついて学ぶ。
第2回	令和5年 10月20日	令和6年 1月30日	「顧客へ価値を届けるための仕組みづくり」 事業の核となる要素として、課題とソリューション、 ビジネスモデルとチャネルについて検討 を行い、製品・プロダクトが顧客へ浸透する仕 組みを描き出す。
第3回	令和5年 10月24日	令和6年 2月6日 (第3回、4回 同日開催)	「成長を拓げる市場の描き方と事業サイクル」 市場規模や競合優位性を確認し、事業のライフ サイクルや事業価値の考え方をすることで、ス タートアップとして自身が取り組む事業の成 長可能性を理解する。
第4回	令和5年 10月26日	令和6年 2月6日 (第3回、4回 同日開催)	「成果発表」 ピッチデッキを用いて事業プランの発表を行 い、講師からの講評と参加者間での感想のシェ アをフィードバック。
参加人数	延べ14人	延べ46人	

・ **ベンチャーピッチ（ベンチャーピッチ in 羽田）**

概要	
参加者募集	令和5年11月1日～12月4日
参加者選定会	令和5年12月8日 ※応募20件から10件を選定
全体コーチング	第1回 令和5年12月20日 第2回 令和5年12月21日
個別コーチング	令和5年12月～令和6年2月の3か月間、各5～6回程度実施
ピッチイベント 会場：PiO PARK	令和6年2月15日 ※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などのパートナー企業 に対してピッチを実施
【パートナー企業】（17社） 株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズ、株式会社きらぼし銀行、在日ドイツ商工会議所、 さわやか信用金庫、ジャフコ グループ株式会社、城南信用金庫、 住友商事マシネックス株式会社、台北市コンピュータ協会（TCA）東京事務所、東急株式会社 東洋製罐グループホールディングス株式会社、TOPPAN エッジ株式会社、株式会社ニコン、 日本航空株式会社（JAL）、羽田みらい開発株式会社、Beyond Next Ventures 株式会社、 株式会社 FUNDINNO、ベンチャーフレンドリープロジェクト	

登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
株式会社 NB コールドチェーン	無電源での冷蔵冷凍輸送
株式会社 KAMAMESHI	製造業を救うプラットフォーム「KAMAMESHI」
株式会社 VICode	QR コード・バーコードをスキャンしてデータを読み取る時代から、画像、風景、物体をスキャンしてデータを 読み取る時代へ
Brand Maker Enabler 株式会社	大田区から世界へブランドメーカーを立ち上げる
株式会社 cosmobloom	小型衛星向け“kW 級”薄膜太陽電池アレイの販売
LOOVIC 株式会社	空間認知を解決する、移動支援技術開発
株式会社 tiit	孤育で解消プラットフォーム（みんなファミ）
株式会社道道	京浜島道庭計画→全国道庭計画～京浜島から世界へ～
ジャポックス株式会社	グローバル自動車流通・販売 CtoC プラットフォーム
個人	生成 AI を使用したスカウトサービス「FastScout」

⑤ 工場表彰制度（優工場）

【当初予算額 4,085,000 円（うち区補助）3,985,000 円】

【決算額 3,209,889 円（うち区補助）3,209,889 円】



【優工場ホームページ】

申込企業	13 社
	<p>認定工場：9 社（ ）は表彰</p> <p>アベテクノシステム株式会社（総合部門賞、まちに優しい部門賞）</p> <p>株式会社マテリアル（総合部門賞、人に優しい部門賞）</p> <p>株式会社北嶋絞製作所（総合部門賞）</p> <p>株式会社西尾硝子鏡工業所（総合部門賞）</p> <p>株式会社岩崎成型</p> <p>株式会社クライム・ワークス</p> <p>株式会社城南キー</p> <p>富士セイラ株式会社</p> <p>株式会社前川試験機製作所</p>
	 <p>【実地調査】</p>  <p>【優工場パンフレット】</p>
累 計	297 社 実数 190 社（令和 6 年 3 月末現在）
実地調査	令和 5 年 9 月 6 日～8 日
審 査 会	令和 5 年 10 月 16 日
表 彰	令和 6 年 2 月 9 日

・アンケート調査の実施

前年度（令和4年度）認定工場10社にアンケートを実施。認定を受けたことによる特典など、90%の企業が同事業に対して満足しているとの回答を得ている。

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【当初予算額 165,000円（うち区補助）165,000円】

【決算額 451,000円（うち区補助）451,000円】

広報活動	総合版いちおしグルメパンフレットを配布
------	---------------------

⑦ 大田のお土産100選 表彰事業

【当初予算額 165,000円（うち区補助）165,000円】

【決算額 451,000円（うち区補助）451,000円】

展示・販売	<ul style="list-style-type: none">羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce（クレアディスケ）で「大田のお土産100選」常設販売、ものづくり事業者24社の製品を販売東急プラザ蒲田「大田のお土産100選特別フェア」出展販売 期間：令和5年9月16日～18日 出展者：8事業者、納品販売8事業者	 <p>【ホームページ】</p>
広報活動	タリーズコーヒー羽田イノベーションシティ店に「大田のお土産100選」の製品・商品を常時紹介	

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第4条（3）関係】

〔重点取組事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（12月）参加企業175社（発注企業62社、受注企業113社）で開催。当日のキャンセルに際しても、追加商談のセットや技術連携相談員によるヒアリングなどにより空白時間をなくすことで参加企業へのサービス向上に努め、540件の商談案件を提供した。
- ・「Meet New Solution in OTA」は、「脱炭素・エネルギー・環境」「AI・IoT・生産性向上」「モビリティ・航空・宇宙・ロボティクス」「ライフサイエンス」などの社会的課題を解決する製品・サービスを全国から大田区に集め、ベンチャーキャピタル、コーポレートベンチャーキャピタル、金融機関、大企業・中堅企業などの来場者と、多くの「出会い」を創出した。加えて、「ベンチャーフレンドリー」コーナーも設け、スタートアップ・ベンチャー企業と大田区製造業者との連携を紹介し、好評を博した。
- ・海外取引相談では、9月に海外企業との取引拡大を希望する区内企業4社とともに、台湾の企業5社を訪問し、ミニマッチング会を実施した。このほか、PiO PARKにおける海外情報の提供機会として、グローバルビジネス勉強会を5回、海外取引セミナーを5回実施した。さらに、海外見本市にも4年ぶりにリアル出展し、10月に台湾で開催されたイノベーションや新技術、新製品をテーマにした台湾創新科技博覧会（TIE）では、区内企業のサンプルを展示した。また、11月にドイツで開催された医療機器用部品をテーマにしたCOMPAMEDには区内企業4社と共同出展した。各出展者とも来場者に対して積極的にプロモーションを行い、数多くの商談が生まれた。その他、窓口・訪問相談や国際取引あっせん等を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げるとともに、国際的な企業間連携を深耕した。
- ・商業分野の事業では、大田区の2大ターミナル蒲田駅、大森駅直結の施設等で「おおたイチ推しマルシェ」を開催し区内商店の新規顧客獲得、販路拡大を図ると同時に、来場者には区内商業の魅力再発見を促した。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、PiO PARKの運営を通じて、区内企業の取引拡大等に向けた取組を展開した。

① 受・発注相談

【当初予算額 32,097,000円（うち区補助）31,607,000円】

【決算額 30,389,649円（うち区補助）29,895,549円】

（ア）相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
103件	受注	発注	技術連携相談員：1,333件 シルバー人材委託：987件
43,351千円	59件	514件	

（イ）発注開拓（工業）

技術連携相談員及び担当職員による主に区外の手企業への発注開拓

訪問先	44件
活動成果	成約案件：15件 成約金額：159,285千円

(ウ) 受・発注商談会

(a) ものづくり受発注商談会

実施日		
令和5年12月7日		
第62回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数
175社	62社・113社	540件



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

(b) 愛媛県×大田区マッチングイベント

当イベントは区内企業と愛媛県企業双方のものづくり企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めることを目的としている。愛媛県は、日本有数の製造業（今治造船グループ・大王製紙グループ・住友グループ等）を有しているが、試作・精密加工などを得意とする企業が不足している。一方、区内製造業はワークサイズの大きいものを不得手としており、連携することにより、互いに補完し合うことができ、双方にとって取引拡大が期待されるため、イベントの企画につながった。

名称	開催日・期間	商談先	参加企業数	商談件数
愛媛県×大田区 マッチングイベント	令和5年11月1日～2日	愛媛県企業	16社	13件

(エ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、一般公開中。さらにデータベースの拡充を行った。

② 海外取引相談事業

【当初予算額 18,473,000円（うち区補助）18,433,000円】

【決算額 17,282,658円（うち区補助）17,282,658円】

(ア) 窓口・訪問相談

(a) 相談件数（合計489件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	35件	欧州	166件
台湾	51件	北米	9件
ASEAN	84件	その他	144件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数（合計271件）

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	27件	欧州	121件
台湾	72件	北米	10件
ASEAN	31件	その他	10件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
60件	3件	3,800千円

(イ) 国際連携の推進

(a) グローバルビジネス勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和5年4月6日	「台湾ビジネスについて」 講師：Taipei Computer Association 東京事務所 駐日代表 吉村 章氏	20人
令和5年6月6日	「インド製造業について」 講師：インド大使館 一等書記官 Shishir Kothari 氏 ミラインディア株式会社 望月 奈津子氏	25人
令和5年8月8日	「ベトナムビジネスについて」 講師：株式会社東新製作所 石原 幸一 氏 「スイス出張報告」 講師：ハラ・インスティテュート 原 圭介氏	17人
令和5年10月17日	「ドイツ産業のトレンドについて」 講師：ベッコフオートメーション株式会社 川野 俊充氏	16人
令和6年1月11日	「海外ビジネス相談員プレゼン」 講師：西川相談員、柴田相談員、吉田相談員、原相談員	19人

(b) 海外取引セミナー

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和5年6月9日	「海外展開の意義と見本市の活用について」 講師：有限責任監査法人 トーマツ リスクアドバイザー 事業本部 ガバメント&パブリックサービス スタッフ 中道 萌子氏 官民連携アドバイザー マネジャー 李 ボラ氏	29人
令和5年8月29日	「タイの最新経済状況と取引の魅力について」 講師：第一部：タイ王国大使館経済・投資事務所 (BOI 東京事務所) 一等書記官 (投資) オーラタイ=ピッタヤタナークン氏 第二部：フィーサ株式会社 代表取締役社長 斎藤 進氏	31人
令和5年12月14日	「リスク管理編について」 講師：関東経済産業局総務企画部 国際課課長 坂口 伸氏 コファス・サービス・ジャパン株式会社 杉井 淳氏	26人
令和6年2月28日	「中小企業にとっての米国市場の有望性」 講師：ジェットロ米州課長 伊藤 実佐子氏 トキ・コーポレーション株式会社 会長 時枝 直満氏	32人
令和6年3月8日	「最新の東アジア経済について」 講師：公益財団法人 東京財団政策研究所 主席研究員 柯 隆氏	41人

(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	26件
海外企業信用調査	11件

(エ) 広告媒体の利用

英文企業ガイドの活用

Web版の英文企業ガイド「PROFILES OF COMPANIES」を活用し、オンライン見本市への出展や、海外企業・機関との打ち合わせの際に区内中小企業をPRした。区内中小企業56社を掲載中。

<https://www.manufacturers-ota-tokyo-japan.net/>



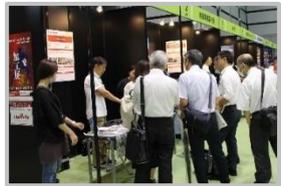
(オ) 海外市場開拓（商談会）

日時・訪問国	参加企業数	訪問企業数	成果
日時：令和5年9月11日～14日 訪問先：台湾	区内企業 4社	台湾企業 5社	商談件数 20件 継続案件 5件

③ 大田区加工技術展示商談会

【当初予算額 15,784,000円（うち区補助）13,784,000円】

【決算額 15,735,045円（うち区補助）13,733,045円】

開催日	参加企業・団体	来場者	商談件数
令和5年9月8日	100社	812人	890件
概要	<p>開催日とラグビーワールドカップの開幕とが同じ日であることに因み、「One for all, All for one」の副題のもと、トライやスクラム、パス回しなどにより大田のモノづくりを表現した。さらに、スタッフもラグーシャツを着用して来場者と出展者のマッチングを行った。</p> <p>当日は、台風13号が東京を直撃したため、昨年度に比して来場者数は減少したが、各来場者は却って多くのブースを訪問することができ、あわせて説明や商談の時間も増えたほか、会場のレイアウトの工夫やスタッフの誘導により、出展者同士の交流も活発となった。</p> <p>【特別講演】「製造現場におけるIoT化と改善につながるデータ活用事例」（64名参加）</p> <p>講師：株式会社村田製作所 通信・センサ事業本部 IoT事業推進部 m・FLIPソリューション 企画開発課 郷間 真治氏</p>		
			
	 <p>【商談の様子】</p>		

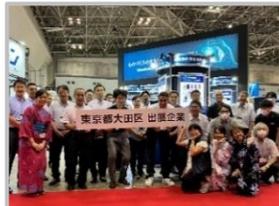
④ 国内見本市への出展支援

【当初予算額 21,548,000円（うち区補助）16,224,000円】

【補正後予算 20,252,000円（うち区補助）14,928,000円】

【決算額 15,646,724円（うち区補助）12,495,168円】

(ア) ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成果
テクノフロンティア 2023	令和5年7月26日～28日 東京ビッグサイト	商談件数 785件
概要	<p>これまでの3つの小規模な展示会出展を一つに集約することで、効果的、効率的なPRを目指した。</p> <p>会場では、大きく目立つパビリオンで、出展者プレゼンや自治体連携等を積極的に進めた。さらに、出展企業と協会職員が力を合わせ一体感を持って展示会を盛り上げ、協会パビリオンに多くの来場者を誘致することに成功した。</p> <p>【主催者】 一般社団法人日本能率協会 【協会パビリオン参加企業】 12社</p>	 <p>【大田区パビリオン】</p>  <p>【出展企業と協会職員】</p>

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 6社

展示会名	会期及び会場	出展企業
Eight Networking EXPO 2023	令和5年4月27日～29日 東京ビッグサイト	株式会社 CyberneX
未来モノづくり国際EXPO	令和5年5月10日～12日 インテックス大阪	株式会社OUTSENSE
インテリアライフスタイル	令和5年6月14日～16日 東京ビッグサイト	デザインアンドイノベーション株式会社
日本ものづくりワールド 次世代3Dプリンタ展	令和5年6月21日～23日 東京ビッグサイト	株式会社グーテンベルク
CEATEC 2023	令和5年10月17日～20日 幕張メッセ	日本電波株式会社
メカトロテックジャパン2023	令和5年10月18日～21日 ポートメッセなごや	有限会社大野精機

⑤ 海外見本市への出展支援

【当初予算額 10,706,000 円（うち区補助）9,643,000 円】

【決算額 8,770,746 円（うち区補助）7,696,246 円】



【ドイツ COMPAMED 出展】

(ア) 共同出展／協会単独出展

展示会名、会期及び会場	出展形式	成 果	参加企業
2023 年台湾創新科技博覧会 (TIE) 令和 5 年 10 月 12 日～14 日	会場出展	商談件数 31 件 継続案件 2 件	協会単独出展
ドイツ COMPAMED 2023 令和 5 年 11 月 13 日～16 日	会場出展	商談件数 184 件 継続案件 35 件	大田区企業との 共同出展

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【当初予算額 23,673,000 円（うち区補助）19,658,000 円】

【決算額 19,785,936 円（うち区補助）17,574,936 円】



【案内チラシ】

(ア) おおたイチ推しマルシェ

会 期	会 場	参加事業者数	購買人数
(1) 令和 5 年 8 月 19 日～20 日	(1) 東急プラザ蒲田 7 階 イベントスペース	(1) 10 店舗	(1) 710 人
(2) 令和 5 年 11 月 25 日～26 日	(2) アトレ大森 1 階催事場	(2) 8 店舗	(2) 922 人
概 要	大田区の 2 大ターミナル蒲田駅、大森駅直結の施設で区内商店による販売・PR イベントを開催し、新規顧客獲得と販路拡大を目指すとともに、来場者には大田区の商店の魅力の再発見と区内回遊を促す。		

集客拡大を図る工夫	<p>(1) 東急プラザ蒲田7階 イベントスペース会場</p> 	<p>《告知一覧》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区報8月1日号 ・大田区HP ・東方通信社「コロンプス」8月号 ・大田区商店街連合会「おーたふる」 ・産業プラザ1階Pi0フロントにて紹介 ・協会公式SNS ・はねびよんX（旧Twitter） <p>《ポスター配布、提出先》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東急電鉄駅構内ポスター掲示 ・区設掲示板 ・東急プラザ蒲田館内ポスター、デジタルサイネージ掲示 <p>《その他集客活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はねびよんとの写真撮影（1日当たり3回実施） ・はねびよん健康ポイントアプリの限定スタンプ配布 ・大田区プレミアム付デジタル商品券を使用できる環境を整備 ・会期中チラシ配布1,000部（蒲田駅西口広場）
	<p>(2) アトレ大森1階催事場</p> 	<p>《告知一覧》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田区商店街連合会「おーたふる」 ・産業プラザ1階Pi0フロントにて紹介 ・協会HP ・協会公式SNS ・観光協会X（旧Twitter） ・大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」 11月号、12月号に掲載。コラボ割引券を発行 <p>《ポスター配布、提出先》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業プラザ内の掲示版 ・アトレ大森デジタルサイネージ掲示 <p>《その他集客活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はねびよんとの写真撮影（1日当たり3回実施） ・はねびよん健康ポイントアプリの限定スタンプ配布 ・大田区プレミアム付デジタル商品券を使用できる環境を整備 ・会期中チラシ配布400部（会場入口、大森駅前コンコース）

(イ) Meet New Solution in OTA

会 期	参加事業者数	来場者数
令和6年2月9日	74社（団体）	1,020名
創出された出会いの件数	2,036件（うち新規取引など出展目的達成に繋がる可能性が高い案件183件）	

概 要	<p>社会課題を解決する新しいソリューションを世の中に生み出す全国のスタートアップ企業などが「ものづくりの都」東京大田区に集結することで、区内製造業を含めたさまざまな「出会い」が日本産業の発展へつながる場とすることを目的に開催。</p> <p>① 1階大展示ホールメインステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第35回大田区中小企業新製品・新技術コンクール受賞者プレゼン」 ・トークイベント「ベンチャーと大田区企業の取組事例の紹介」 ・「第35回大田区中小企業新製品・新技術コンクール/令和5年度優工場 合同表彰式」 ・出展者プレゼンテーション (17社) ・東洋製罐グループホールディングス(株)・日本トールカンパッケージ(株)とのタイアップによる段ボールドーム等製品展示・体験コーナー <p>② 2階小展示ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOM'S プレゼンツ DREAM ゾーン EV カートの運転体験 (東蒲小学校児童) ・株式会社ダイモンによる月面探査車の操縦体験 (東蒲小学校児童) <p>③ 4階コンベンションホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別講演「製造業が YouTube を活用するためにやるべきこと。やってはいけないこと。」 講師：製造系 YouTuber 『なんとか重工』ケロ氏 ・自治体連携企画「出会いが導くワクワクものづくり」 ファシリテーター：山形大 古川英光教授、仙台市、大田区、神戸市、中国経済産業局等 ・出展者交流会 	 <p>【パンフレット】</p>  <p>【1階メインステージ】</p>  <p>【2階EVカートの運転体験】</p>
-----	--	---

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【当初予算額 4,744,000 円 (うち区補助) 4,684,000 円】

【決 算 額 4,844,126 円 (うち区補助) 4,781,126 円】



(ア) 相談業務 (商業)

専門相談員 (あきない活性化コーディネーター) による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	延べ 461 件
------	----------



【商いPiO ホームページ】

(イ) フード展示商談会

実施日・会場	内 容
実施日：令和5年11月7日 会 場：大田区産業プラザ 4階「コンベンションホール」	「第7回フード展示商談会 in 大田」 ・出展者 (売り手側) 21 社 (区内 18 社、区外 3 社) ・来場者 (買い手側) 57 人 (製造・加工 5 社、商社・卸 21 社、小売・流通・サービス 8 社、教育機関 1 社、外食・レストラン・ホテル 6 社、その他 3 社、協力団体 13 人) ・商談件数：58 件

(ウ) 商品磨き上げ事業

現役で活躍しているバイヤー、専門家等が個別相談を行い、自社製品の魅力度やPR力、販売力に磨きをかけ、新規取引獲得を目指した。

参加店舗数	専門講師による指導回数
5店舗	12回

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【当初予算額 37,437,000円（うち区補助）31,101,000円】

【補正後予算 33,169,000円（うち区補助）18,716,000円】

【決算額 27,384,687円（うち区補助）10,277,486円】



PiO PARK のイベント開催、コワーキング及び、ショーケーシングの運営を適時かつ適切に行った。また、独自のイベント開催等を通じて利用者や区内中小企業への産業支援、連携促進にも取り組み、イベントやショーケーシングをきっかけとした連携や成約事例が生まれた。



【PiO PARK】

(ア) PiO PARK 利用促進

従前の取組に加え、PiO PARK のコンセプトや利用方法を分かり易く紹介する動画を作成し、ホームページに掲載した。また、SNS(X、TikTok等)を活用し、PiO PARK で開催されるイベント情報等を発信することにより施設利用促進のためのプロモーションを行った。

(イ) 協会や区が主催するイベントの運営・支援

協会や区主催のイベントに加えて、区内外機関等との連携イベントを行うことでより幅広い利用者層へアプローチを行った。

(ウ) 利用者に対する産業支援

羽田共創プラットフォームをはじめとする協会主催事業へ参加促進を行うことで、利用者と区内中小企業との連携促進を行った。また、PiO PARK を活用して羽田イノベーションシティ入居者全体向けの交流会を適時開催し、交流促進を行った。

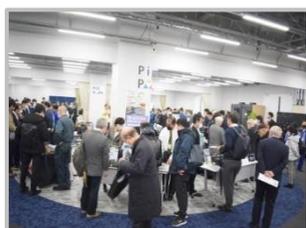
(エ) 区外企業・機関との連携促進

区外（海外含む）からの視察の受け入れやイベント連携を積極的に行い、連携機会の創出、産業の活性化を図った。

(オ) PiO PARK 利用実績

(a) PiO PARK 利用実績数字

延べ利用者数 合計	24,943人（オンライン参加1,145人を含む）			
イベント	開催件数	205件	来場者 総数	14,089人 （オンライン参加1,145人を含む）
コワーキング	内容			利用者数
	月額プラン契約件数（3月末時点）			24件
	月額プラン利用者数			延べ2,420人
	1日フリープラン利用者数			延べ11人
	時間利用者数			延べ77人
	無料体験者数			174人
	特別会議室利用			39件/472人
ゲスト来訪者	視察者数（海外関係機関視察者293人/23件を含む）			1,472人
	ショーケーシング見学者数			5,008人
	その他（テナント企業利用等）			延べ1,220人
マッチング	主催事業や利用者からの相談、ショーケーシング等を きっかけとした成約数			9件 20,373,700円



【超専門技術ミニ展示会】



【イベントスペース】



(b) イベント【協会主催イベント（抜粋）】

【協会主催イベント（抜粋）】				
●超専門技術ミニ展示会				
展示会名	日時	出展企業数	来場者数	商談件数
1 「見えない展」	令和5年7月13日	15社	457人	415件
2 「減らす展」	令和5年11月8日	16社	302人	300件
3 「曲げ展」	令和6年2月21日	16社	354人	386件

●HANEDA 共創プラットフォーム

- (1) グローバルビジネス勉強会 5回 延べ参加者数 97人
- (2) ベンチャーフレンドリー塾 5回 延べ参加者数 191人
- (3) 自社商品のつくりかた勉強会 5回 延べ参加者数 81人
- (4) グリーンエネルギーセミナー 4回 延べ参加者数 116人

●その他イベント

- ・海外取引セミナー
- ・ビジネス開発プログラム
- ・ベンチャーピッチ in 羽田 2023
- ・おおた研究・開発フェア～産学連携・新技術展～の研究開発特別講演等の関連イベント

●他機関との連携、委託イベント

- ・ResorTech Expo in Okinawa サテライト会場（一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センターとの連携イベント）
- ・生成 AI の注意点・活用事例セミナー（関東経済局、きらぼし銀行との連携イベント）
- ・SDGs セミナー（日本政策金融公庫連携イベント）
- ・広域連携企業交流会（磐田市・川崎市との連携イベント）
- ・Manufacturing consortium hub at OTA（きらぼし銀行&innoba 大田との連携イベント）
- ・高校生向け経営者育成事業「探究サロン」（NPO OSEKKAI への委託事業）



【経営者育成事業「探究サロン」】



【ショーケース】



常設展示に加えてテーマ別の企画展示を行い、大田区企業の技術力や連携事例等を発信した。

期 間	企画展示内容
令和5年5月10日～ 6月28日	大田区「優工場」認定企業展
令和5年7月3日～ 令和6年3月31日	HANEDA×Pi0 テナントゾーン取組み展示
令和5年7月8日～ 8月30日	大田区・品川区・つくば市ベンチャー、スタートアップ企業展
令和5年12月1日～ 令和6年1月31日	地域密着の城南信金マンイチ押し！ 大田区企業限定 航空分野展示フェア
令和6年2月14日～ 3月14日	大田区企業×東京工科大学デザイン学部 Design Solution 展

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業【定款第4条（4）関係】

〔重点取組事項〕

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイトづくりを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・若手人材の採用意欲がある区内中小企業のニーズに応えるため、大学等との連携により、合同企業説明会を対面式とオンライン式の2つの形態で開催した。採用力アップの事前セミナーの開催で、学生への訴求力を高めるとともに、当日は各企業による事前説明を実施した上で、より多くの説明を受けられるよう説明会を3社ずつのローテーションにするなど運営の工夫を図り、6名の採用に至った。
- ・+WORK（内職あっせん・相談）事業では、求職者データベースのデジタル化に加え、求人企業データベースのデジタル化も進めた。求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施することでマッチング率を高め、採用につなげた。また、求人開拓の範囲を広げた結果、新たな募集案件を獲得することにつながった。

① おしごとナビ大田区

【当初予算額 2,024,000 円（うち区補助）183,000 円】

【決算額 2,230,520 円（うち区補助）400,164 円】



（ア）求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	126 社
新規登録企業社数	31 社



【おしごとナビホームページ】

（イ）民間広告媒体を活用したPRの実施

令和5年10月1日から令和6年1月31日まで京急線1500系車両のドアガラス面に丸形ステッカー広告を貼付。



【京急線ステッカー】

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【当初予算額 999,000 円（うち区補助）899,000 円】

【決算額 745,802 円（うち区補助）715,802 円】

（ア）都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校（高専）の教授陣と連携し、同校において中小企業の若手技術者育成を目的として講座を実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

	科 目	単 位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)	
基礎講座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15回	令和5年9月1日 ～10月11日	13(11)人
		材料加工の基礎	6回	令和5年10月13日 ～31日	11(8)人
		デジタルマニファク チャリング体験講座	6回	令和5年11月2日 ～16日	9(2)人
	電 気	電気回路の基礎	8回	令和5年9月20日 ～10月13日	8(6)人
		シーケンス制御の基礎	10回	令和5年11月7日 ～12月7日	8(7)人
出前講座 (大田区)	電気回路の基礎 日本ヒーター株式会社	3回	令和6年1月16日 ～30日	延べ31人	

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局：NPO 法人大田教育支援の会) に対し助成を行った。

内 容	詳 細	活動日数	参加人数
定期活動	期間：令和5年4月～令和6年3月（毎月1～2回） 会場：大田区池上会館（科学室） ・「カレイドサイクル」製作及び競技会 ・「プチロボ」製作 ・「マルメロちゃん」製作 ・「電気回路基礎」（LED、スイッチの取り付け） ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	20日	会員数 16人 延べ参加者 (262人)
臨時活動	令和5年8月22日 「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト大会」 令和5年10月26日 「さわやか信用金庫物産展 展示発表」 令和6年1月13日 「ものづくり教育・学習フォーラム」参加 令和6年2月22日～24日 「こらぼ de アート作品展示」	6日	

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【当初予算額 2,262,000円（うち区補助）2,262,000円】

【決算額 2,254,150円（うち区補助）2,254,150円】

(ア) 合同企業説明会の開催

大学などの教育機関と連携し、合同企業説明会を対面式と、オンライン式で1回ずつ開催。若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行った。

実施日	参加企業数	参加大学等	参加者	各社入室数(延べ人数)	成果
令和5年7月7日 (対面式)	12社	1校	7人	27人	3人 (採用)
令和5年12月8日 (オンライン形式)	12社	4校	17人	33人	3人 (採用)

④ +WORK (内職あっせん・相談) 事業

【当初予算額 4,574,000円 (うち区補助) 4,574,000円】

【補正後予算 5,870,000円 (うち区補助) 5,870,000円】

【決算額 5,822,956円 (うち区補助) 5,822,956円】

(ア) あっせん相談

(a) あっせん・相談状況

求職	求人		あっせん		採用	問合せ件数
	企業数	人数	企業数	人数	人数	
新規登録人数	125件	246人	265件	290人	180人	1,932件

(b) 出張相談会

ハローワーク大森	6回開催
----------	------

(イ) 求人開拓

求人企業への企業訪問	30件
------------	-----

(ウ) 普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	枚数等
内職求人開拓用印刷物の作成・配布	蒲田・大森・雪谷・品川法人会会報封入	約8,400枚
	区内・品川区・川崎市1,000社投函	1回
内職求職者用印刷物の作成・配布	区内図書館(16か所)、特別出張所(18か所)、大田文化の森等にチラシ設置及びポスター掲示	約2,200枚
	大田区子育て支援課(区内児童館55か所を含む)、保育サービス課、子ども家庭支援センター(キッズな4か所)にチラシ設置	約2,800枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約100枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいき仕事ステーション・大田区生活再建就労サポートセンターJOBOTAにチラシ設置	約300枚

〔重点取組事項〕

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成は、高度先進的な製品・技術だけではなく、社会的課題解決やSDGsといった観点からも優れたものが多く採択された。採択企業は、概ね計画通りに開発を進め、本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールも、社会的課題解決やSDGsといった観点からも優れたものの応募が増えており、その中から有望な製品・システム等9件を選出した。最優秀賞は「ホルター心電図検査 e-skin ECG」。着衣型の心電図計測システムであり、受検者の通院回数を減らし、医療機関の費用負担の軽減が可能となる。また、優秀賞として、「『EdgeOCR』現場業務を効率化するハイスピード・高精度OCR」（AI技術による高速読み取りにより業務の効率化・生産性の向上が期待できる）及び「掘削状況3D管理アプリ ちかデジ（旧称：しくつ君）」（掘削状況の動画データにより3Dデータ作成が可能となり、工期短縮・生産性の向上が期待できる）が受賞した。
- ・次世代産業創造・産業クラスター形成事業において、「おおた研究・開発フェア」は、引き続きコンgresクエア羽田で開催し、国内から多くの来場を集めた。また、展示会への出展、各種セミナーの開催、大手企業（技術研究所）と連携したオープンイノベーション（出張展示会）、個別マッチングなど行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しした。

① 新製品・新技術開発支援事業

【当初予算額 76,473,000円（うち区補助）76,473,000円】

【決算額 65,889,968円（うち区補助）65,889,968円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

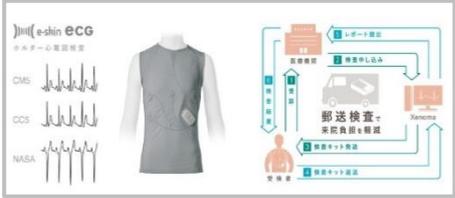
トライアル助成	助成 1社（申込件数 5社）
企業名	事業テーマ
東洋鍛工株式会社	欧州市場に於けるチタン製航空機部品の需要動向調査
開発ステップアップ助成	助成 4社（申込件数 19社）
企業名	事業テーマ
株式会社マテリアルハウス	電灯式スカイシャワーの開発
株式会社水龍堂	赤外線カメラ搭載型水中ドローンの設計・開発
大田ゲートウェイ株式会社	大規模農業法人と組んだ食品機械市場への参入
株式会社Piezo Sonic	サービスロボットのためのマルチモータドライブの開発

実用化製品化助成	助成 12 社 (申込件数 18 社)
企業名	事業テーマ
エビナ電化工業株式会社	柔軟性をもつ貫通穴付きシリコンゴムへのめっき工法確立
株式会社ケミトックス	試作評価用積層シート型(パウチ型) 全固体電池の開発
新日本油脂工業株式会社	生分解性オイルを用いた潤滑油の実用化製品化開発
株式会社菅沼製作所	作業性を重視した新型ちょう架線保護カバーの開発
株式会社 CyberneX	イヤホン型 BCI (Brain Computer Interface) を用いたリラックスアナライザの開発
株式会社エステク・サービス	刃物回転式旋盤の 2 次加工テーブル開発
株式会社クマクラ	超音波ダイヤモンドスクライバー装置の実用化
アクスモールディング株式会社	モータとヒートボルトユニットによる T ダイの膜厚自動調整
株式会社グーテンベルク	高速 3D プリンター G-ZERO 2.0 への技術的・意匠的改良
精発ばね工業株式会社	前回開発した板厚 0.1mm の高精度ヘッドランプシェードの量産工程確立
株式会社ハッシュ	トラベル用洗剤
株式会社ダイモン	超軽量小型でどんな状態でも走行可能な月面探査車の開発



(イ) 新製品・新技術コンクール

【新製品・新技術コンクール
第 35 回パンフレット】

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 23 件)
賞 名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社 Xenoma 「ホルター心電図検査 e-skin ECG」 	

優秀賞	株式会社ネフロック 「『EdgeOCR』現場業務を効率化するハイスピード・高精度 OCR」	
	ジオ・サーチ株式会社 「掘削状況 3D 管理アプリ ちかデジ (旧称：しくつ君)」	
奨励賞	永楽電気株式会社 直流地絡電流検出継電器 (予兆形)	
	株式会社水龍堂 汎用 ROV (水中ドローン) 「龍頭」	
OTA サステナブル賞 (奨励賞)	株式会社フルハートジャパン HASHIBA 電子クーラー “Cooling-Ace”	
OTA TECH 賞 (奨励賞)	株式会社マテリアル Rapot	
OTA 研究開発賞 (奨励賞)	トキ・コーポレーション株式会社 LED 照明器具の新たな給電制御方式 交互直流給電システム	
OTA エコトラベル賞 (奨励賞)	株式会社ハッシュ 旅先専用洗剤 Lucy Mist	

② 次世代産業創造・産業クラスター形成

【当初予算額 66,500,000 円 (うち区補助) 60,956,000 円】

【決算額 65,549,608 円 (うち区補助) 60,153,408 円】

(ア) 区内の研究開発型企業に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進	150 社
大田区研究開発型企業ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布	2,500 部

【大田区研究開発型企業ガイド】

大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	協会宛 17 件 企業宛 20 件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業PR	5 展示会
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報をモノマッチニュースで配信	24 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を Future innovation OTA ニュースで発信	23 回

(イ) 産学交流相談

技術連携相談員による相談業務の実施

項目	相談件数
産学交流相談	448 件

(ウ) オープンイノベーションマッチング

開催日	内容	参加者数 (区内企業)
令和5年12月15日	大手通信企業とのオープンイノベーション（技術ニーズ発表会）実施	22人 (21人)

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和5年 10月3日	第1回レアアース泥開発関連セミナー 『製造業界における3Dプリンターの業界動向と活用の勘所』 講師：株式会社立花エレテック 東京支社 東京産業メカトロニクス部 木南 佳氏 丸紅情報システムズ株式会社 製造ソリューション事業本部 デザインファクトリー部 小山 丈博氏	20人 (16人)
令和5年 10月27日	第2回レアアース泥開発関連セミナー 『レアアース金属を中心とした機能性材料への活用事例紹介』 講師：三井金属鉱業株式会社 機能材料事業本部 機能性粉体事業部 企画部 部長 蔭井 慎也氏	25人 (18人)
令和5年 12月13日	産業用ロボット導入セミナー 『ロボットとは多品種少量生産における省力化装置である』 講師：株式会社ロボットテクニカルセンター 代表取締役社長 高丸 正氏（高丸工業株式会社 代表取締役）	24人 (20人)
令和6年 3月7日	令和5年度医工連携セミナー 『リハビリテーション』を学ぼう 講師：藤田医科大学東京 先端医療研究センター 医学部 Well-being 創出リハビリテーション医学講座 准教授 森 直樹氏	17人 (14人)

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和5年 7月31日～ 9月7日	デザイン・ワークショップ (計5回) 講師：共立女子大学 建築・デザイン学部 教授 石田 和人氏 他	2社 (2社)
令和5年 10月16日 11月30日	デザイン・ワークショップ 試作検討会 (計2回) 講師：東京工科大学 デザイン学部 教授 酒井 正氏 他	4社 (4社)
令和5年 11月16日	立体表現セミナー 『立体表現を楽しんで学ぶ』 講師：立体表現アドバイザー/エムデザイン 代表 芦田 正治氏	18人 (14人)
令和6年 3月6日	デザインセミナー 『行政がデザインと目指す未来』 講師：有限会社ヒラカワデザインスタジオ 代表取締役 平川 真紀氏	22人 (17人)

(オ) おおた研究・開発フェア

開催日	出展者数、商談件数等
第13回 おおた研究・開発フェア 令和5年 10月26日、27日	出展者数：92社・団体 登録者数：1,401人 商談件数：4,950件 
特別講演① 令和5年10月26日	テーマ：『スポーツ工学・ヒューマンダイナミクスが目指すもの』 講師：東京工業大学工学院 教授 中島 求氏 日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門 部門長 会場：PiO PARK 受講者数：57人
特別講演② 令和5年10月27日	テーマ：『半導体・電子部品等に関する最近の政策動向について』 講師：経済産業省 商務情報政策局情報産業課 総括補佐 栗田 宗樹氏 会場：PiO PARK 受講者数：83人

(カ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
第96回 日本整形外科学会併設機器展示会	令和5年5月11日～14日 パシフィコ横浜	相談件数 17件
人とくるまのテクノロジー展 2023 (NAGOYA)	令和5年7月5日～7日 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)	相談件数 44件
北洋銀行ものづくりサステナフェア 2023	令和5年7月20日 アクセスサッポロ	相談件数 48件
第2回 港区オープンイノベーションフェア	令和5年10月12日 港区立産業振興センター	相談件数 46件
2023 国際ロボット展	令和5年11月29日～12月2日 東京ビッグサイト	相談件数 60件

〔重点取組事項〕

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ行動制限の解除や経済活動が再開する中、各種サービスの利用ニーズ増大に対応した。また、相次ぐ物価高騰により、チケット等の仕入価格も上昇したが、入浴券、映画券のバリュープライス企画や、夏休み宿泊補助にキャンペーン補助の上乗せ等を実施し、会員の余暇活動の充実を図った。
- ・祝品（継続会員、入学）のクオカードについて、電子申請・給付を導入し、サービスのデジタル化による会員の利便性向上を図った。
- ・区内での消費を促すことに加え、区内の魅力を知らせていただくため、おたイチ押しマルシェとのコラボ企画や、HICity内飲食店・施設のほか、ベーカリー、デザート・スイーツ店等の区内店舗で使用できるクーポン券を発行した。

① 加入促進事業

【当初予算額 13,718,000円（うち区補助）5,432,000円】

【決算額 10,944,151円（うち区補助）5,016,508円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労者共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年10回	各号4,300部



【会報誌「ふれあい」】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用し、加入促進員による個別訪問を継続実施

共済会員入会推移	令和3年3月末 (令和2年度)	令和4年3月末 (令和3年度)	令和5年3月末 (令和4年度)	令和6年3月末 (令和5年度)
事業所（社） (前年度比)	1,451 (-78)	1,379 (-72)	1,336 (-43)	1,290 (-46)
会員（人） (前年度比)	4,255 (-155)	4,054 (-201)	3,966 (-88)	3,847 (-119)

※令和6年3月31日時点での数字であり、退会の届出の事情により、年度を遡って会員数等が変動する場合があります。

② 福利厚生事業

【当初予算額（自主）35,984,000円】

【補正後予算（自主）44,484,000円】

【決算額（自主）45,381,319円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	40 件
インフルエンザ予防接種	〃	234 件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,414 セット
区営プール利用券	〃	786 枚
区営スポーツセンター	〃	11 セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっせん・補助の実施。

バスツアー補助	22 件
---------	------

(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計6泊まで1泊につき2,000円の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	240 件
----------------	-------

(エ) 契約施設等の利用

大田区以外の6つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「いちおしグルメ表彰店舗」で利用できる割引券やゴルフ、大田区文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	1,353 枚	潮干狩り	37 枚
東京ディズニーリゾート	1,566 枚	HICity 補助	1,073 枚
おおたイチ押しマルシェ コラボ企画他	2,692 枚	大田区文化振興協会公演	47 枚
釣り船	31 枚	銭湯補助企画	1,542 枚
ゴルフ場	35 枚		

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット (デジタルチケット含む)	5,142 枚	大相撲観戦チケット	30 枚
スパ等チケット	595 枚	スポーツ観戦チケット	63 枚

東京ドームシティ 得10 チケット	230 枚	美術展チケット	478 枚
プリペイドカード	1,604 枚	東武動物公園 法人アトラクションパスセット	296 枚
食事券（施設利用購入分）	1,188 枚	おふろの王様チケット	501 枚
鑑賞券（演劇・音楽等）	503 枚	恋活パーティー参加	9 人
物販（柿のあっせん販売）	91 件	西武園ゆうえんちチケット	91 枚

③ 給付事業

【当初予算額（自主）7,775,000 円】

【決 算 額（自主）5,953,450 円】

（ア） 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	123 件	計 265 件
見 舞 金	37 件	
弔 慰 金	105 件	

（イ） 入学祝・継続会員記念品の贈呈

入学祝	166 件	計 523 件
5 年継続	162 件	
10 年継続	125 件	
20 年継続	43 件	
30 年継続	27 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業
【定款第4条（7）関係】

【重点取組事項】

- ・大田区産業プラザ大展示ホール特定天井工事の完了及び新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流・経済活動の回復を見据え、区内経済の活性化に資するMICE誘致を積極的に推進した。
- ・「イベントサポートガイドPi0倶楽部」は紙面をフルカラー化、「Pi0周辺マップ」は新規掲載事業者を拡充した他、それぞれ「大田区産業プラザ Web サイト」との連動制を高め、施設利用者の利便性向上と利用促進を図った。
- ・令和7年度から実施される大規模改修工事は、実施設計について区及び都と共に施設管理者として調整、立会及び確認を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【当初予算額（利用料金）222,149,000円】

【補正後予算（利用料金）236,149,000円】

【決算額（利用料金）222,146,987円】

大田区産業プラザの指定管理者として、大手企業や、学会を中心にMICE誘致を推進することで区内産業振興につながる利用を促進すると共に、大田区産業プラザの認知度を高めた。また、近隣の貸館や全国展示場連絡協議会に属する貸館との情報交換に努め、貸館運営における様ざまな業務改善策を講じた。その他、施設の災害対策として、蒲田消防署と連携して大田区産業プラザ館内勤務者を対象とした消防訓練を行ったほか、新たに帰宅困難者一時滞在施設運営訓練を実施し、防災センターをはじめとする館内勤務者の危機管理意識の向上を図った。



【イベントの様子
於：大展示ホール】

令和5年度 産業プラザ施設利用状況 <別表A>

(ア) 展示ホール

施設名	前半 9:00~14:00		後半 14:00~19:00		年間 利用率	年間 利用者数
	貸出可能数 利用率	利用数	貸出可能数 利用率	利用数		
大展示ホール	346	250	346	260	73.7%	224,663人
	72.3%		75.1%			
小展示ホール	346	234	346	249	69.8%	124,991人
	67.6%		72.0%			
合 計 (1)						349,654人

(イ) コンベンションホール・会議室他

施設名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンションホール	346	250	346	284	346	235	74.1%	131,585人
	72.3%		82.1%		67.9%			
A会議室	346	295	346	314	346	230	80.8%	22,513人
	85.3%		90.8%		66.5%			
B会議室	346	296	346	306	346	217	78.9%	23,528人
	85.5%		88.4%		62.7%			
C会議室	346	252	346	286	346	154	66.7%	18,419人
	72.8%		82.7%		44.5%			
D会議室	346	266	346	286	346	193	71.8%	24,233人
	76.9%		82.7%		55.8%			
E会議室	346	248	346	283	346	159	66.5%	10,416人
	71.7%		81.8%		46.0%			
F会議室	346	253	346	287	346	216	72.8%	8,394人
	73.1%		82.9%		62.4%			
G会議室	346	267	346	283	346	178	70.1%	10,322人
	77.2%		81.8%		51.4%			
特別会議室	346	203	346	239	346	156	57.6%	28,094人
	58.7%		69.1%		45.1%			
和 室	346	227	346	250	346	184	63.7%	9,662人
	65.6%		72.3%		53.2%			
					合 計 (2)			287,166人
					総合計 (1) + (2)			636,820人

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	240,488,137円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 164,344,005円 ・前年度収納分： 63,597,382円 ・駐車場利用料： 8,545,100円 ・コワーキング施設利用料： 4,001,650円

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【当初予算額（自主）4,727,000 円】

【決算額（自主）3,917,185 円】

「イベントサポートガイドPi0 倶楽部」及び「Pi0 周辺マップ」をそれぞれ刷新。

「大田区産業プラザ Web サイト」と紙媒体との連動性を高め、施設利用者の利便性向上と利用促進を図った。また、区内の経済波及効果につなげるために、新たに大手企業や、学会を中心に MICE 誘致を推進すると共に、施設利用者に対してケータリングサービス、弁当、ホテル等の事業者を紹介する等、区内産業の振興に努めた。



【大田区産業プラザ Web サイトなど広報媒体】

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【当初予算額（受託）53,267,000 円】

【決算額（受託）51,756,366 円】

産業プラザは建築後 28 年が経過しており、協会では、受託業務の範囲での維持補修工事を適宜実施した。また、大田区発注の無停電電源装置改修工事、大展示ホール屋根緊急シーリング補修工事及び大規模改修工事実施設計が円滑に実施されるよう関係各所と連携・調整等を行った。

さらに、備蓄品を充実するため地下 1 階の防災備蓄倉庫の収納容量を拡大し、帰宅困難者一時滞在施設としての防災力を高めることで利用者の安心・安全に努めた。

実施した維持補修等の工事

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・中水加圧給水ポンプユニット修繕工事 ・東京都立産業技術研究センター排気ファン入替工事 ・大田区産業プラザひかり電話回線変更に伴う電話交換機切替作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気貫流ボイラ (BS-1A-1 号機) 給水ポンプ交換工事 ・1 階エレベータホール前他 LED 誘導灯取替工事等 61 件

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
<ul style="list-style-type: none"> ・無停電電源装置改修工事 ・自動ドア防護柵設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事実施設計委託 ・大展示ホール屋根緊急シーリング補修工事

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

第1回	令和5年5月16日 出席理事 5人 欠席理事 1人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告について 令和4年度決算について 令和5年度補正予算について 定時評議員会の開催について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第2回 ※	決議のあった日 令和5年6月5日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事である理事長選定について 業務執行理事である専務理事選定について
第3回	令和5年7月7日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について 評議員選定委員の選任について
第4回	令和5年11月9日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 1人	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
第5回 ※	決議のあった日 令和5年12月8日 同意した理事 6人 同意した監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人大田区産業振興協会職員の給与等に関する規程の改正について
第6回	令和6年3月27日 出席理事 6人 欠席理事 0人 同席監事 2人	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度補正予算について 令和6年度事業計画及び収支予算について 規程の改正について <ol style="list-style-type: none"> 組織、処務に関する規程 職員の給与等に関する規程 情報公開規程 財務規程 契約規程 就業規則第11条3項(区OB)職員の給与規程 就業規則第19条2項の規定により再雇用(固有OB)職員の服務及び給与規程 非常勤職員規程 規程の制定と廃止について <ol style="list-style-type: none"> 短時間勤務職員規程(制定) 就業規則第11条3項(区OB)短時間職員の勤務規程(廃止) 就業規則第11条3項(区OB)職員の任用の上限に関する規程(制定) 就業規則第11条3項(区OB)職員の定年に関する規程(廃止) 評議員選定委員の選任について 役員賠償責任保険の契約更新について 臨時評議員会の開催について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第 18 条に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、それぞれ承認を得た。

定時 評議員会	令和 5 年 5 月 31 日 出席評議員 6 人 欠席評議員 1 人 同席監事 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の選任について ・ 令和 4 年度事業報告について ・ 令和 4 年度決算の承認について
------------	---	--

●評議員選定委員会

第 1 回	令和 5 年 4 月 25 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・ 評議員の選任について
第 2 回	令和 5 年 5 月 31 日 出席委員 3 人 欠席委員 2 人	・ 評議員の選任について
第 3 回	令和 5 年 11 月 9 日 出席委員 4 人 欠席委員 1 人	・ 評議員の選任について

◆協会組織強化

●協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
総務・ワークフロー研修	4 月 7 日	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程等について学ぶ。	11 人
情報セキュリティ研修	4 月 7 日 10 月 3 日 (同内容開催)	新任職員等	協会のセキュリティについて学ぶ。	延べ 22 人
新任研修	4 月 11 日	新任職員等 (産業振興課職員)	大田区の産業についての基礎知識と区産業経済部との連携について学ぶ。	23 人
産業プラザ施設勉強会	4 月 18 日 10 月 2 日 (同内容開催)	新任職員等	産業プラザや施設の整備について学ぶ。	延べ 17 人
HANEDA×Pi0 研修	4 月 18 日 10 月 3 日 (同内容開催)	新任職員等	HANEDA×Pi0 施設を見学し、今後の事業展開について学ぶ。	延べ 16 人
YouTube 投稿セミナー	9 月 5 日	協会職員	YouTube アカウントの運用や動画編集方法等を学ぶ。	18 人
官学連携人材育成講座 (東邦大学)	9 月 25 日	協会職員 (産業振興課職員)	職場におけるこころと体のヘルスケアについて学ぶ。	83 人
協会内実務研修	10 月 1 日～ 2 月 22 日	新任職員等	各セクションから協会事業の今後の展開について学ぶ。	延べ 71 人
受・発注相談事業報告会	11 月 13 日	協会職員 (産業振興課職員)	協会の受・発注相談事業の年間実績と最新の動向について学ぶ。	46 人
知的財産権研修	11 月 21 日	協会職員 (産業振興課職員)	知的財産権とその活用について学ぶ。	76 人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。